

関節リウマチの抗サイトカイン療法

夢ではない寛解・治癒

関節リウマチの新しい治療



膠原病内科部長 河野 厚

関節リウマチの概略

関節リウマチは原因不明の多発性関節炎を主体とする慢性・進行性の炎症性疾患である。最初の炎症は関節滑膜を中心に始まる。図1の如く関節の腫脹疼痛が特徴である。



図1

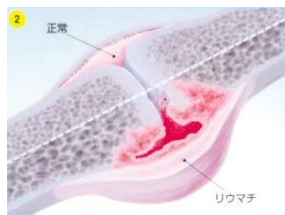


図2 滑膜増殖を伴う関節破壊

この様な関節リウマチの患者では、関節X線を初診時(図3左)と、1年後(図3右)とを比較すると発症1年後、すでに関節破壊が著明となっ



図3(左)

図3(右)

さらに図4の如く、関節リウマチでは関節以外にも全身に多彩な病変が出現する。長期に炎症が続くとアミロイドシスを生じ難治性下痢、蛋白尿、腎不全などの症状をきたす。その他、骨粗鬆症、二次性シェーグレン症候群などの合併もある。

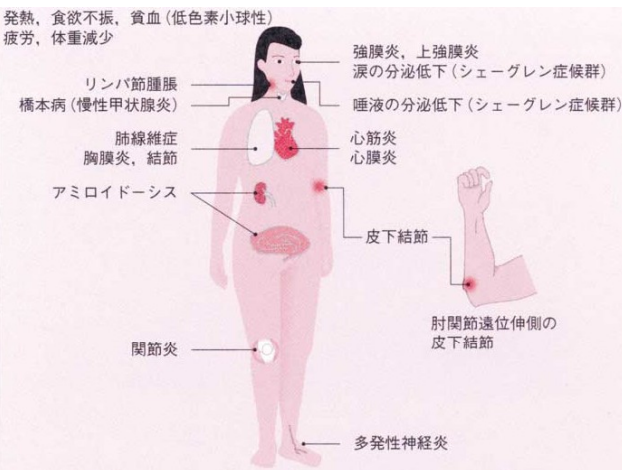


図4 関節リウマチの諸症状

リンパ節腫脹
橋本病(慢性甲状腺炎)
肺線維症
胸膜炎、結節
アミロイドーシス
関節炎
多発性神経炎

発熱、食欲不振、貧血(低色素小球性) 疲労、体重減少
強膜炎、上強膜炎
涙の分泌低下(シェーグレン症候群)
唾液の分泌低下(シェーグレン症候群)
心筋炎
心膜炎
皮下結節
肘関節遠位伸側の皮下結節

腫脹した関節の断面を
図示すると、図2のよう
に病変部の滑膜の異常増
殖と、軟骨・骨破壊が明
らかである。

さらに図4の如く、関
節リウマチでは関節以外
にも全身に多彩な病変が
出現する。長期に炎症が
続くとアミロイドシスを
生じ難治性下痢、蛋白
尿、腎不全などの症状を
きたす。その他、骨粗鬆
症、二次性シェーグレン
症候群などの合併もある。

これを拡大さ
せていく。また骨

引き起こす、様々なサイ
トカイン(免疫などに関
係する生理活性物質)が
つくられている。それら
がリンパ球など別の免疫
細胞の受容体にくっつい
て、免疫細胞が活
性化し、増殖し続
けることで炎症を
起こし、軟骨や骨
などの組織を壊し
ていく(図5)。

関節リウマチで悪
さを増やすサイトカ
インの1つが
TNF-α(腫瘍壊
死因子)と呼ばれ
るものである。こ
の悪玉の炎症性サ
イトカインである
TNF-αはマクロ
ファージから産生
され、マクロファ
ージや別の免疫細
胞に働きかけて、
これらを活性化
し、炎症を拡大さ
せていく。また骨

を壊す破骨細胞に作用し
て活性化させたり、骨を
つくる骨芽細胞を抑えて
骨を新しく造らせなかつ
たりすることなど、関節
破壊にも直接、関わって
いることが明らかになっ
ている(図6)。

特に関節リウマチの場
合では、非常に多量の
TNF-αが産生され続け
る。その結果、骨を壊す
破骨細胞を活性化させて
骨をより壊させたり、滑
膜の細胞を活性化させ、
関節炎を起こしたり、軟
骨細胞に作用して軟骨を
溶かしたり破壊したりす
る。これを押さえ込むた

めに、現在使用されてい
るレミケード®、エンブ
レル®は共に関節リウマ
チの患者の関節内で産生
される炎症を起こしている
炎症性サイトカイン「TNF-α」を、押さえ込む
生物学的製剤という薬で
ある(図7)。最新のバイ
オテクノロジー技術を使
って作られるのでバイ
オ医薬品とも呼ばれてい
る。レミケード®は抗
TNF-α抗体(抗体製剤)
で、エンブレル®はTNF
α受容体と融合蛋白(受
容体関連製剤)である。

当科でも、すでに多数の
関節リウマチの患者さん
において、この2種類の
製剤をうまく使い分けて
臨床応用している。生物
学的製剤の使用により「疼
痛・腫脹から解放され、
夜もよく眠れるようにな
った」と患者さんから言
ってもらえるのが筆者の
密かな楽しみである。こ

のように関節リウマチの
予後を大きく変えた生物
学的製剤であるが問題点
もある。投与された
100%の人に効果があ
るわけではなく、効果が
ない人も少数ではあるが
存在する。貴重な薬
品を使用して治療する
のであるから、前も
って効くか効かない
か判ればよいのだが、
今の医学では「その
人に効くか効かない
か」は断言できない。

そこで個々人の遺伝
子解析し、その解
析結果からある薬が
効くか効かないか予
測して、今後の治療
方針をたてようとい
う取り組みが行われ
ている。こうした試
みは洋服の仕立てに
なぞらえて「テーラ
ード医療」とい
われている。今後、
このような方法が進

歩し、治療効果や副作用
が予測できるようになる
と、関節リウマチにお
いても、寛解から治癒の状
態をもたらすことができ
る時代が来ると考えられ
る(表1)。

予後を大きく変えた生物
学的製剤であるが問題点
もある。投与された
100%の人に効果があ
るわけではなく、効果が
ない人も少数ではあるが
存在する。貴重な薬
品を使用して治療する
のであるから、前も
って効くか効かない
か判ればよいのだが、
今の医学では「その
人に効くか効かない
か」は断言できない。

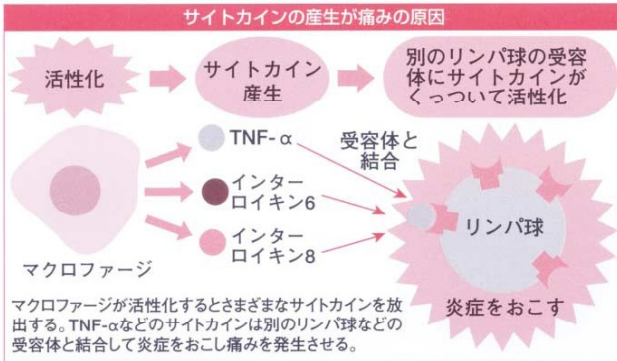


図5



図6



図7

年代区分	治療の対象	治療の標的	改善の指標	使用薬剤
1970年以前	個体レベル	ADLの改善 一症状の緩和	疼痛・腫脹 発熱の軽減	NSAIDs
1980年代	細胞レベル	炎症細胞の制御 →臨床的寛解	CRP, ESR, MMP-3の正常化	ステロイド薬 抗リウマチ薬
2000年代	分子レベル	炎症性サイトカイン制御 →画期的寛解	炎症所見の改善および MRI等での改善	生物学的製剤
20XX年代	DNAレベル	RA自体の制御	発症責任遺伝子の 制御	遺伝子治療

職場紹介 3階東病棟

こんにちは、3階東病棟です。皆さん！回復期病棟ってご存じですか？そう！まさしくリハビリを主体とした、活気溢れる病棟です。



ある程度病状の落ち着いた方が本格的にリハビリを始める為、最初は少々おっかなびっくりなのですが、少しずつ回復に向かっていく自分自身に喜びを感じていただいているようです。

リハビリのスタッフは20代の若者が多く、たくましいので安心してお任せ下さい！病棟の看護師はどういうわけか年齢層が高く…(いわゆる、大阪のおばちゃん?)的なので明るく元気に皆様のケアにあたっています。もしかしたらリハビリに負けないくらいたくましくありません…。それぞれの担当の先生方も情熱を持っています。ここで入院してリハビリを受けて良かった!!と喜んで下さる病棟を目指してますます頑張ります。一度覗いてみて下さいね！ (東口晴美)

健康講座のご案内

平成20年7月5日(土)

開演：午後1時30分～3時



第1部 『骨粗鬆症と骨折予防について』

講師：整形外科部長 柿本 明博

第2部 『長寿医療制度(後期高齢者医療制度)について』

講師：医事課 担当者

医療法人協和会
会場 協和会病院 TEL 06-6339-3455
 ウエルハウス協和2階食堂 吹田市岸部北1-24-1

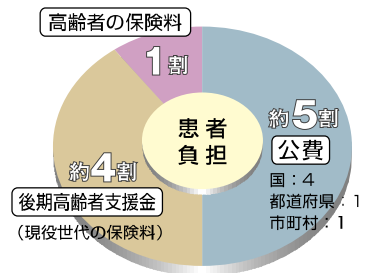
長寿医療制度(後期高齢者医療制度)とは

長寿医療制度(後期高齢者医療制度)は、75歳以上の方々に「生活を支える医療」を提供するとともに、長年、社会に貢献してこられた方々の医療費をみんなで支える「長寿を国民皆が喜ぶことができる仕組み」です。

長寿医療制度については、何が良くなるのか分からない、必要な医療が受けられなくなるのではないかといった御質問やご心配の声が寄せられています。

必要な医療に加えて、受けられる医療の選択肢が増えることや、負担が軽くなる仕組みがあることなど、長寿医療制度のメリットをご説明します。

＜高齢者の保険料負担比率＞



● 75歳以上と74歳以下で受けられる医療は同じです。

● 加えて、長寿を迎えられた方々が自立した生活を送れるよう、「生活を支える医療」を提供します。

● 医療給付費の5割に公費を重点的に投入します。現役世代から4割を仕送りし、高齢者の医療費を国民皆で支えます。

● 高齢者の保険料は、全体で従来と同水準の医療給付費の1割です。

● 高齢者の方々の保険料は、原則として年金からお支払いいただきます。「銀行で支払う手間をおかけしない」、「行政の余分なコストを省く」ためです。

整形外科 北田先生が国際学会で最優秀賞を受賞!!



去る6月4～7日に香港で開かれた第8回International CAOS meeting(国際コンピュータ支援整形外科手術学会)で、当院整形外科の北田誠先生が最優秀臨床ポスター賞を受賞しました。当院で行っている人工関節手術、特にナビゲーションと呼ばれるコンピュータを用いた手術の正確性についての発表が高く評価されました。

受賞を喜ぶ北田先生(右)と共同演者の中村先生(左)

協和会病院ご案内

医療法人協和会 **協和会病院** 吹田市岸部北1丁目24番1号 (代)06-6339-3455

- 理事長/木曾 賢造
- 院長/増田 公人
- 開院年月日/1988年(S63)3月
- 診療科目/内科、循環器科、消化器科、整形外科、脳神経外科、放射線科、リウマチ科、リハビリテーション科
- 専門外来/泌尿器科(月曜日13:00～14:45)
- 診察時間/午前診 9:00～12:00(月～土曜日)
- ※救急医療については、6月1日より24時間お受けしております。

新入職医師の紹介



内科 桃原 悟 (一般内科)



内科 河野 厚 (膠原病内科)



内科 長澤 昌史 (消化器内科)



内科 小野 啓之 (神経内科)



内科 渡部 天彦 (一般内科)

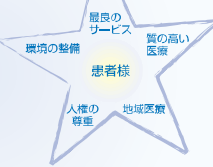


リハビリ科 永江 和孝

病院理念 -知・技・心-

専門的な知識と技術の向上を図り心をこめて安心の医療を提供します

- 1. 「患者様中心」を常に心がけ満足される医療を提供します
- 1. 急性期から回復期まで、地域に求められる医療を提供します
- 1. 医療技術の向上につとめ専門性の高い医療を提供します
- 1. 人員・設備・環境を整え安心で安全な医療を提供します
- 1. 患者様・職員共に人権を尊重し公正な医療を提供します



医療法人協和会 協和会病院 2006.2.1 287

フレッシュパワーで頑張ります!!

平成20年度、看護部門、パラメディカル部門の新入職員25名です。明るい笑顔と元気なあいさつ、初心を忘れず頑張ります!!



編集後記

広報誌～なごみ～も創刊号発刊から早いもので5年目を迎えました。今後も更なる記事内容の充実をはかり、病院からの情報を発信して行きたいと考えております。《広報誌委員長》北村博司